

外来診療予定表

● 受付時間(8:00~11:00)まで(予約されている方は除く)

令和4年11月1日付

科名	担当	月	火	水	木	金
整形外科	新患	隈	宮崎	休診 (手術日)	隈	隈
	再来	隈	宮崎隈		隈	隈
泌尿器科	新患・再来	藤田	村上	藤田	藤田	休診 (手術日)
		三木	三木	三木	三木	
心臓外科	新患・再来 (予約制)	岩田	休診 (手術日)	岩田	岩田	休診
耳鼻科	新患・再来	松永	松永	松永	休診 (手術日)	松永
	アレルギー			(14:30)		
脳外科	新患・再来 (予約制)	森重	休診	休診	肥川 (第1)	休診
					久保 (第2)	
皮膚科	新患・再来 (予約制)			大分大学		
形成外科	新患・再来 (予約制)		大分大学			
放射線科	再来					松本 (第2・4)

科名	担当	月	火	水	木	金
循環器		西水	吉田	和田	吉田	吉田
		和田	西水			西水
消化器		田原				
		野口(地)	野口(地)	児玉	野口(地)	鹿子嶋
血液					児玉	
				本田	有松	本田
内分泌						野口(貴)
呼吸器外来	竹野					橋本
腎臓外来				福田		工藤
血液外来	春山	長松			奥廣	
外科	新患・再来	武内(裕)	藤井	休診 (手術日)	藤井	武内(裕)
		松本	河原		河原	松本
乳腺外来 (予約制)						武内(秀) (第2)
小児外来 (予約制)				大野 (第1・3)		
総合診療	新患・再来	秦	休診	秦	休診	秦

※医師の都合により変更になることがありますので、あらかじめご了承ください。

新しい医療と地域づくり

第7回 JCHO地域医療総合医学会 in 熊本



冬の感染症と言えば??

真っ先に思い浮かぶのが、インフルエンザですね。しかし、実は忘れてはいけない感染症がもう一つあります。それが…「感染性胃腸炎」です。

その原因の代表的なウイルスがノロウイルスです。牡蠣をはじめとする二枚貝を十分に加熱せず食べることで感染し、下痢やおう吐、発熱などの症状が見られます。また、**感染力もとても強い**ので、感染した人の吐物を片付けて感染した…なんて言う話もアルアルです。しっかり防御して正しい方法で対処しましょう。

塩素消毒の方法

次亜塩素酸ナトリウムを水で薄めて「塩素消毒液」を作ります。なお、家庭用の次亜塩素酸ナトリウムを含む塩素系漂白剤でも代用できます。

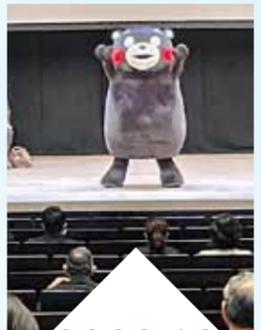
*濃度によって効果が異なりますので、正しく計りましょう。

製品の濃度	食器、カーテンなどの消毒や拭き取り 200ppmの濃度の塩素消毒液		おう吐物などの廃棄 (袋の中で廃棄物を浸す) 1000ppmの濃度の塩素消毒液	
	液の量	水の量	液の量	水の量
12%	5ml	3ℓ	25ml	3ℓ
6%	10ml	3ℓ	50ml	3ℓ
1%	60ml	3ℓ	300ml	3ℓ



南海医療センター院長
兼 附属介護老人保健施設長
もりもと あきお
森本 章生

令和4年10月21日(金)~22日(土)に第7回JCHO地域医療総合医学会(以下JCHO学会)が熊本県熊本市(熊本城ホール)で開催されました。JCHO学会は全国57病院の全職種が集う学会であり、平成26年地域医療機能推進機構が発足以来年1回開催されてきましたが、新型コロナウイルス感染症のため前回及び前々回の学会が開催中止となったので、今回3年ぶりの開催となりました。これまで東京、横浜での開催でしたが、第7回大会は初めて地域での開催となり、しかも九州・熊本での開催とあって、当院は病院をあげて協力し、29題の演題登録を行い総勢50名超で参加してきました。「ウィズウイルス時代の『新しい医療と地域づくり』」というテーマを掲げ、尾身 茂前理事長の特別講演を筆頭に、医師の働き方改革や医療安全等に関するシンポジウムなど多岐にわたるセッションでディスカッションが交わされました。また「石川さゆりコンサート&トークショー」にて癒されるひと時もあり、とても充実した学会でした。



2022.12
vol.19

編集後記

駐車場完成

旧病院跡地に駐車場ができました。収容台数は100台です。広く整備されました。

ご利用ください。今年はコロナに加えてインフルエンザの流行も注意が必要のようです。感染対策が特別なことではなく日々の生活の一部になってきました。十分な休養と栄養をこころがけましょう。



〒876-0857 大分県佐伯市常盤西町7-8

南海医療センター

https://nankai.jcho.go.jp/
TEL 0972-22-0547(代表)
FAX 0972-23-4083

第7回 JCHO地域医療総合医学会



JCHO学会テーマ 「新しい医療と地域づくり」

地域医療連携室



第7回 JCHO地域医療総合医学会が10月21日、22日熊本で開催され、参加しました。

地方開催第1回目が九州熊本で行われることが決まり、当院からも様々な職種から演題が登録され、当日は29題の発表が出来ました。日ごらの活動を多職種が発表するため様々な取り組みが演題になりました。中でも2020年から取り組んでいる心不全包括ケア・心不全ポイントの活用について、看護師・理学療法士・管理栄養士から発表がありました。大分県が2019年に設立した心不全包括ケアカンファレンスに当院も参加しており、医師をはじめ多職種でチームを作り心不全のケアに取り組んでいます。患者様のご紹介はもちろん地域の医療・介護のみなさんとの勉強会やカンファレンスも開催しています。院内にあります、地域連携室までご連絡ください。

第41回 大分人工透析研究会に参加して



令和4年10月1日(土)大分大学医学部附属病院と当院医師、スタッフの合同研究として、『コロナ禍により変化した食事形態が透析患者様に与えた影響』について研究発表させて頂きました。

今回、当院の患者様にもご協力頂き、奨励賞という名誉ある賞を頂くことができました。

今後も医学の発展や安全な透析医療が提供できるよう透析センタースタッフ一同、頑張っていきたいと思っております。

臨床工学技士 村上智恒



大分人工透析研究会 奨励賞

災害時の備えと糖尿病



地震や津波、豪雨などの災害に備えて「非常用セット」を用意していますか？
水や食料・衣類・非常用電源などを両手が使えるようにリュックにセットして販売しているものもあります。加えて糖尿病のある方が災害にあった場合に用意しておきたいものを紹介します。

- 糖尿病手帳のコピー**
自分が糖尿病であることを書いたもの
- お薬手帳**
スマートフォンで写真を撮っておくこともよい方法です
- 血糖測定セット**
- 保険証のコピー**
- 内服薬・インスリンなどの注射薬**
予備のものも。冷蔵庫で保管しているものも忘れずに

強いストレスがかかると血糖値は上昇します。加えて避難所などで提供される食品は菓子パンであることも多く、通常より血糖が高い状態が続くことが近年の災害から知られています。血糖が高くなるとのどが渇き水分を多くとりたくなります。多めの水分（一人1日3L）を用意しておくことが勧められています。一方、野菜不足により便秘がちになります。トイレ事情から水分を控え、さらに便秘になることもあります。糖尿病患者さんの場合は、災害時でも水分をとることを心掛けてください。

南海医療センター 糖尿病ケアチーム
(奈須野卓也 薬師寺聖子 小野彩花 小野敦美)

新任医師 紹介



医師からのコメント

「佐伯のみなさまのために頑張ります。」

新任医師が着任しました。

かわはらひろかず
消化器外科 河原大和